



完全でなくてよい

1月にイチロー氏がアメリカ野球界で殿堂入りを果たした。満票での選出に1票届かなかったが「1票足りないというのはすごくよかった。不完全であるのはいい。生きていくうえで、不完全だから進もうとできる」とコメントされていた。

日光東照宮の「陽明門」には、逆さまになっている柱があり、「満つれば欠ける」の諺により、災いを避けるため、あえて未完成にしていると聞いたことがある。

イチロー氏が日光東照宮の話を知っていたかは定かでないが、どんなことにも完全なものはない。

人は、勉強においても仕事においても結果を求めがちである。しかし、結果に辿り着いたその過程にこそ本当に価値があるのだと思う。

お子さんがテストを持ち帰った時には、点数を誉めるのではなく、ぜひ努力を誉めて欲しい。結果はどうであれ、そこまでの努力を認めてもらうことで次もまた頑張ろうと人は成長していくのだ。

悪質なりフォーム業者に気を付けて！

全国で悪質なりフォーム業者による様々なトラブルが問題になっています。町内でもトラブルが急増しており、注意が必要です。

【事例1】一人暮らしの母の家に業者が訪問し、「屋根がずれている」と強引に屋根に上り契約させた。以前この業者は別の社名で母に同様の契約をさせたが、すぐ消費生活センターに相談しクーリングオフをした。その後、行政処分を受けたとニュースで知った。今回もクーリングオフをしたい。

【事例2】業者に「近所で工事をしていたら、お宅の瓦に穴が開いているのが見えた」と優しく言われ、3年前の雹被害があるか見てもらった。「見積が高額なので考えたい」と伝えると態度が豹変した。

消費生活センターからのアドバイス

- ・高額なりフォーム工事は決してその場で契約せず、複数の業者に見積を取り説明を受けましょう。その場で契約を強引に勧める業者を信用してはいけません。
- ・訪問販売のクーリングオフ期間は8日間以内です。過ぎていてもあきらめずにご相談ください。
- ・不安に思うことがあれば、契約の有無に関わらず消費生活センターにご相談ください。

1人で悩まず すぐ相談！

消費者ホットライン 松伏町消費生活センター

188 局番なし 又は ☎984-7208

えせ同和行為を排除しましょう

— 埼玉葛えせ同和行為対策強化月間 —

本町を含む埼玉葛市町では、毎年4月を「埼玉葛えせ同和行為対策強化月間」と定め、部落差別に対する正しい理解の妨げとなっている「えせ同和行為」の排除を呼びかけています。

▶「えせ同和行為」とは

部落差別の解消を口実に、個人、企業、行政機関などに対して「図書等物品購入の強要」や「寄附金・賛助金の強要」など、不法・不当な行為や要求をすることです。

このような行為は、要求を受けた人が被害に遭うだけでなく、部落差別に対する誤った認識を植えつけ、新たな偏見や差別意識を生む要因となり、部落差別解消の大きな阻害要因となる許されない行為です。

▶えせ同和行為は断固拒否しましょう

えせ同和行為の要求に応じる必要はありません。その場しのぎの安易な対応は、かえって相手につけ込まれます。終始、き然とした態度で断固拒否し、えせ同和行為を排除しましょう。

▶部落差別に対する正しい理解を深めましょう

部落差別とは、被差別部落に「住んでいる」あるいは「生まれた」ということを理由とした不合理な偏見により、結婚や就職、日常生活などの面で差別を受け、基本的人権が侵害されるという、日本の歴史の中で生み出され、現在もなお存在する我が国固有の重大な人権問題です。埼玉葛市町では「部落差別の解消の推進に関する法律」や「埼玉葛県部落差別の解消の推進に関する条例」を踏まえ、部落差別に対する正しい理解が図られるよう、人権教育・啓発活動を推進しています。

企画財政課

☎991-1815

教育文化振興課

☎991-1873



法務省 www.m
法務省
EN/ink86

◀法務省：えせ同和行為を排除するために